



# (株)フェローテック(6890) 2003年3月期決算説明会

2003年5月26日

<http://www.ferrotec.co.jp/>



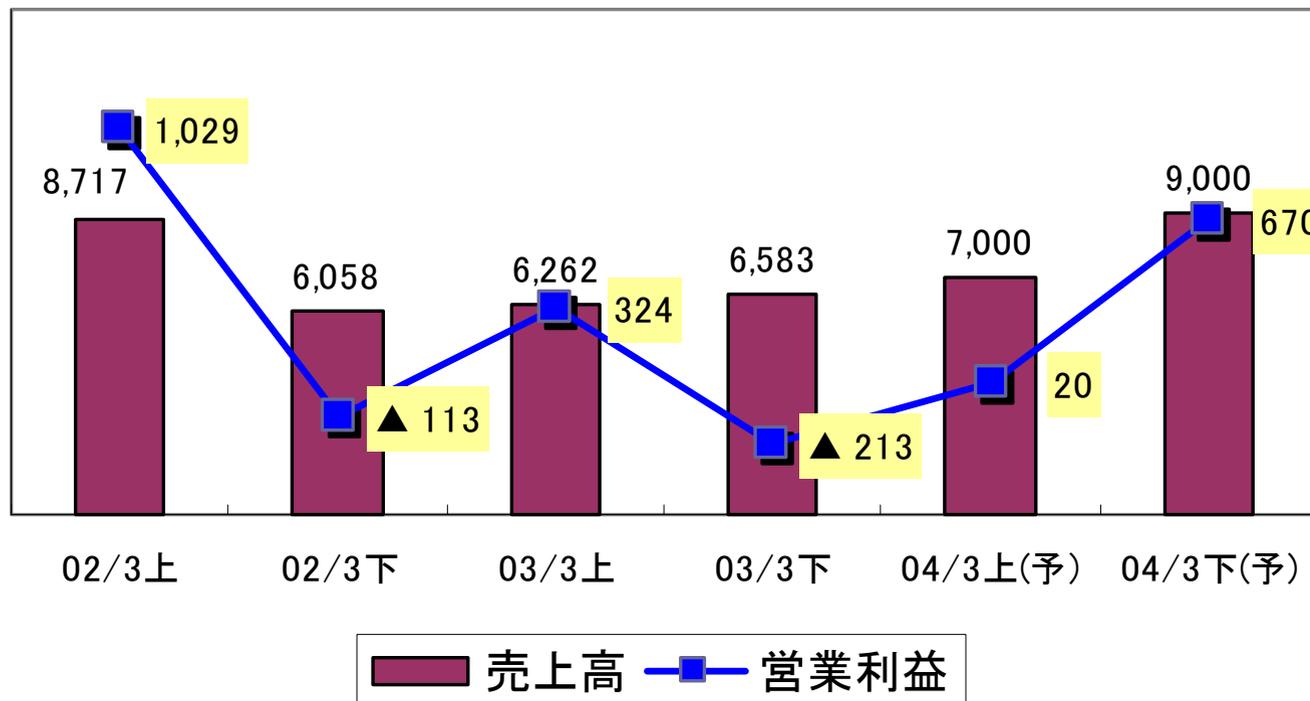
本資料は、2003年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、本資料は2003年5月26日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。



# 売上高と営業利益の推移

## 半期別売上高と営業利益の推移

(百万円)





# 2004年3月期業績予想

	通期比較				通期増減比較	
	2003年3月期 実績	構成比	2004年3月期 予想	構成比	増減額	増減比
<b>売上高</b>	12,845	100.0%	16,000	100.0%	3,155	24.6%
真空シール・部品	3,208	25.0%	3,040	19.0%	▲ 168	▲ 5.2%
石英製品	2,293	17.9%	3,110	19.4%	817	35.6%
EB-ガン・その他	1,349	10.5%	1,400	8.8%	51	3.8%
シリコン製品	-	-	1,070	6.7%	-	-
<b>装置関連事業</b>	6,851	53.3%	8,620	53.9%	1,769	25.8%
CPシール	1,585	12.3%	1,320	8.3%	▲ 265	▲ 16.7%
サーモモジュール	1,110	8.6%	1,750	10.9%	640	57.7%
磁性流体・その他	1,575	12.3%	1,080	6.8%	▲ 495	▲ 31.4%
<b>電子デバイス事業</b>	4,270	33.2%	4,150	25.9%	▲ 120	▲ 2.8%
<b>CMS事業</b>	1,722	13.4%	3,230	20.2%	1,508	87.6%
<b>売上原価</b>	8,200	63.8%	10,810	67.6%	2,610	31.8%
<b>売上総利益</b>	4,644	36.2%	5,190	32.4%	546	11.8%
<b>販管費</b>	4,533	35.3%	4,500	28.1%	▲ 33	▲ 0.7%
<b>営業利益</b>	111	0.9%	690	4.3%	579	521.6%
<b>経常利益</b>	▲ 626	▲ 4.9%	400	2.5%	1,026	-
<b>税引前利益</b>	▲ 827	▲ 6.4%	66	0.4%	893	-
<b>当期純利益</b>	▲ 899	▲ 7.0%	10	0.1%	909	-

金額単位: 百万円

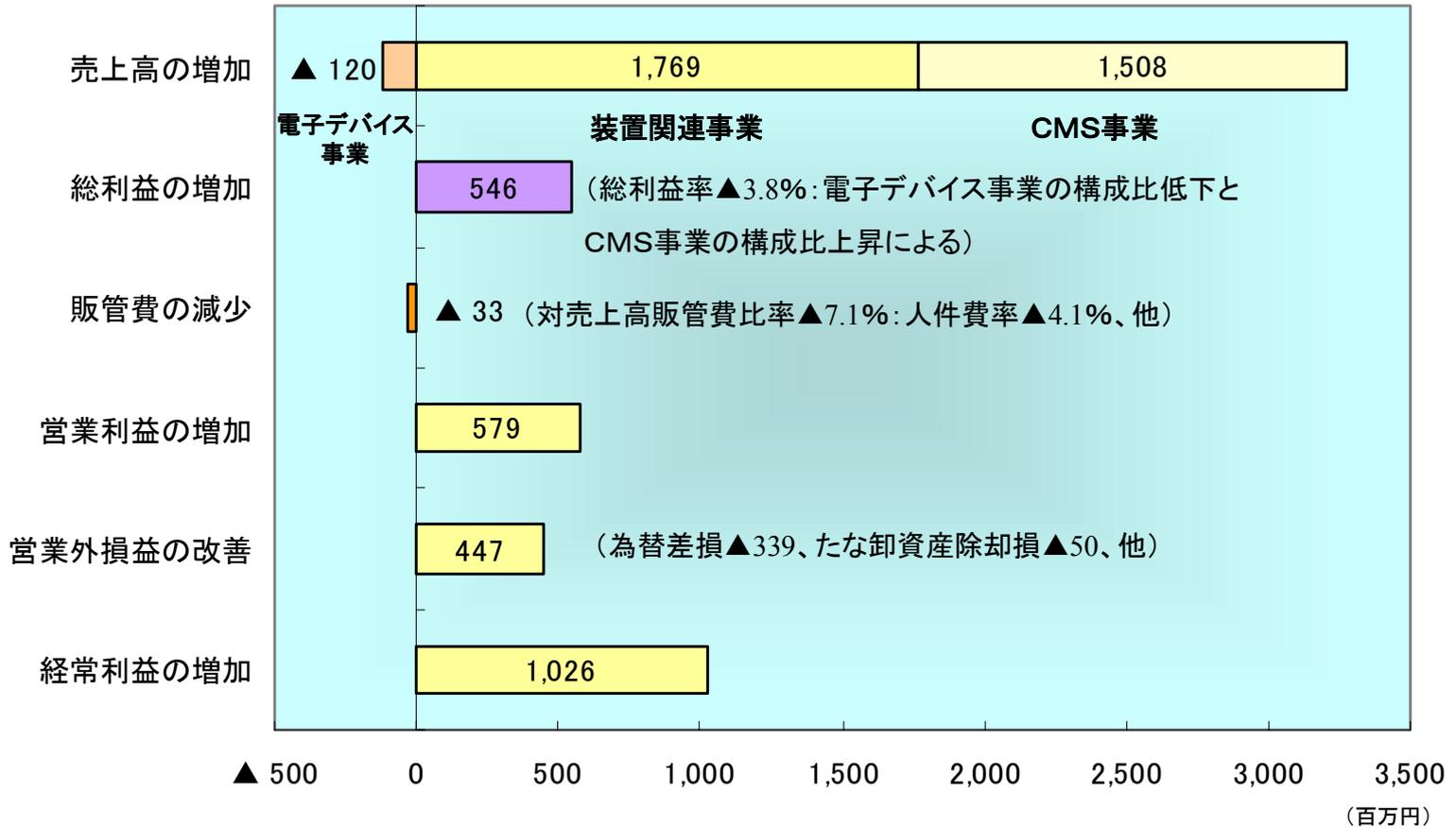
\* フェローテックシリコンのシリコン関連事業を装置関連事業に分類

\* 04/3期特別損失334百万円(石英製品生産移管・合理化関連)



# 損益増減要因

03/3期vs04/3期 損益増減要因の分解





# セグメント別の状況と見通し

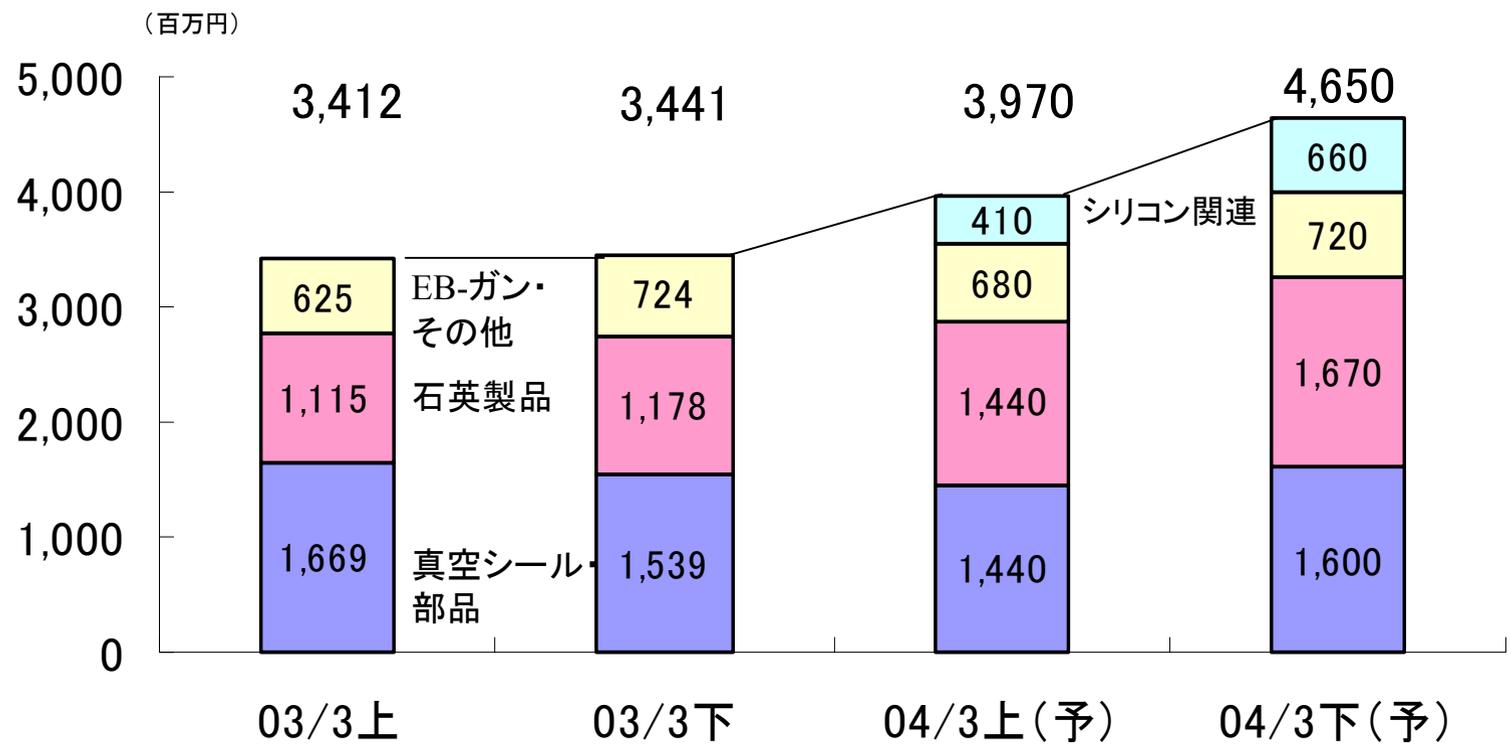
---

1. 装置関連事業
2. 電子デバイス事業
3. CMS事業



# 1.装置関連事業の状況と見通し

装置関連事業 製品別売上高推移





# 真空シール

---

## ■ 日本

- FPD向けが堅調
- 300mmサイズ製造装置向けの引合い徐々に拡大

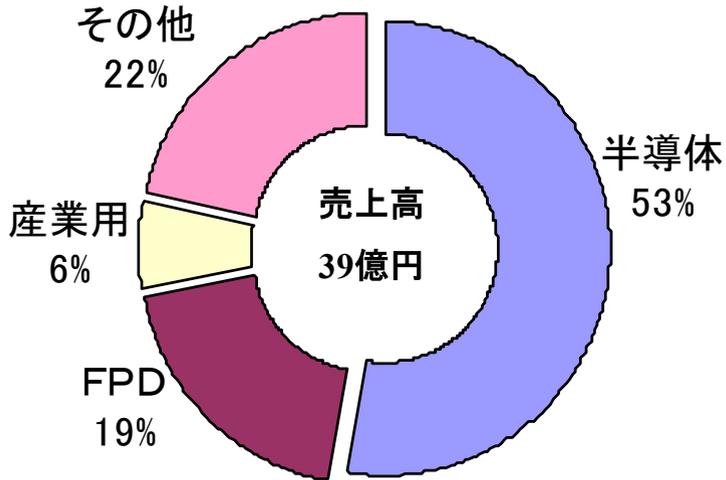
## ■ 米国

- 半導体製造装置への投資抑制が続く中で、メンテナンス需要の比率が高まる

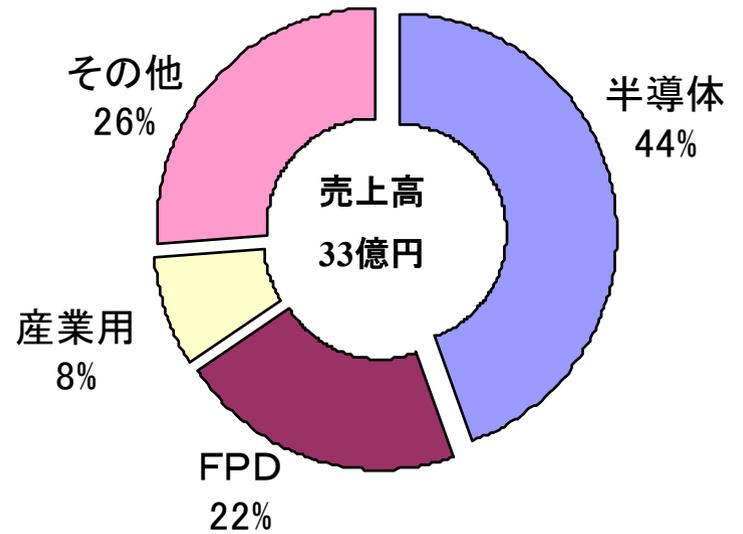


# 真空シールの販売先業種別シェア

販売先別シェア(02/3期)



販売先別シェア(03/3期)





# 石英製品

## ■ 販売

- SMICとの取引開始(製造装置メーカーOEM)
- 300mmサイズ製造装置向けの引き合いが徐々に拡大
- AMAT向け石英製品の拡大

## ■ 生産

- 中国への生産移管
  - ◆ 小口径製品の量産工場として整備
- 国内生産拠点の再編
  - ◆ 工場閉鎖・縮小……(今期特別損失発生要因)
  - ◆ 会津工場を国内主力とし、300mmサイズ対応

## ■ 今期収益改善が見込まれる



# シリコン関連

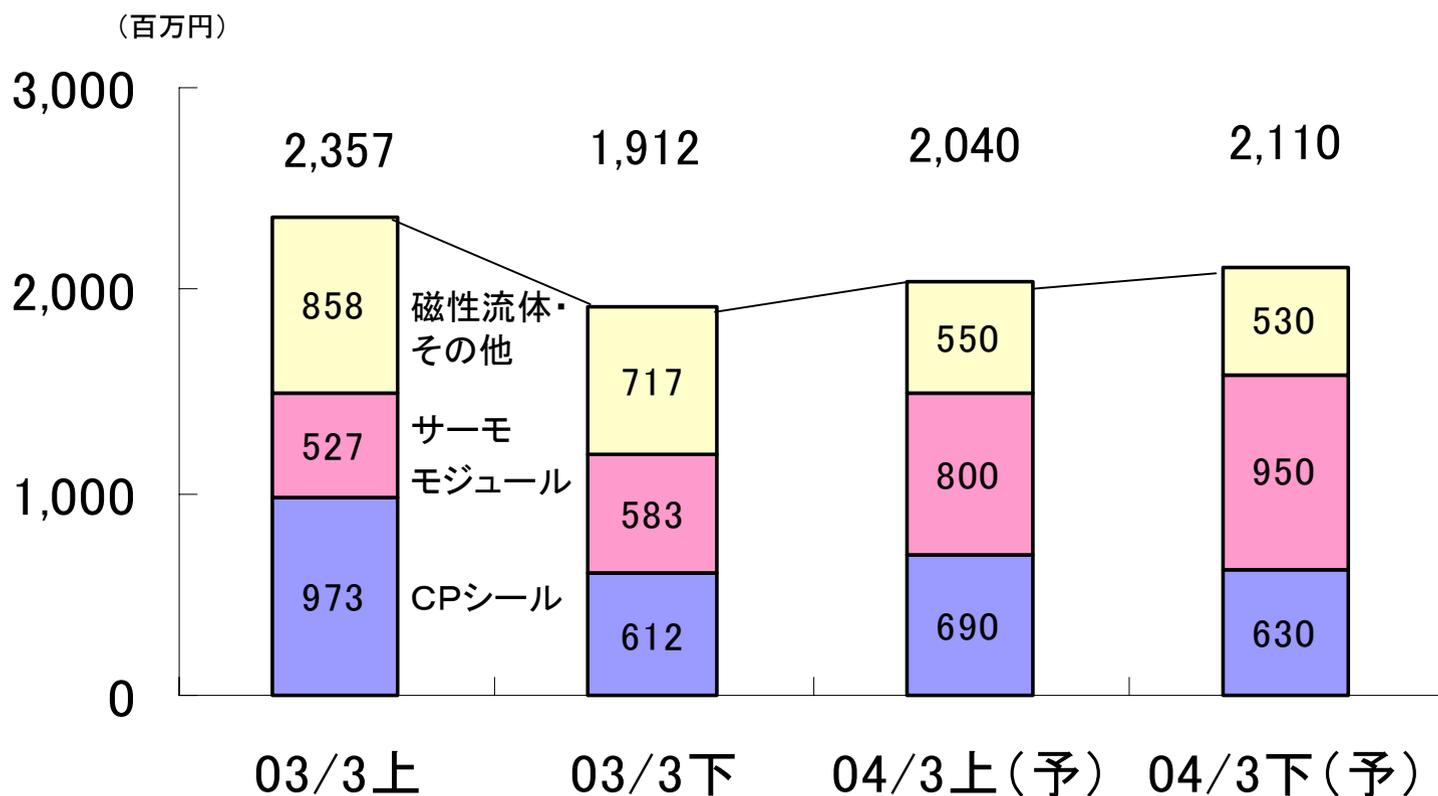
---

- フェローテックシリコンが通期で貢献
- インゴット引上げからウェハー加工まで一環生産



## 2. 電子デバイス事業の状況と見通し

電子デバイス事業 製品別売上高推移





# コンピュータシール

- ハイエンドモデルのFDB化が進み、需要低下
- 高速回転用のUシールの構成比が高まる見込み
- 磁性流体軸受は量産評価用サンプル出荷済み



# サーモモジュール

- 自動車シート温調装置関連が大きく成長
  - GMが新たにアメリゴン社製装置を採用
  - 温調装置の組立加工を開始

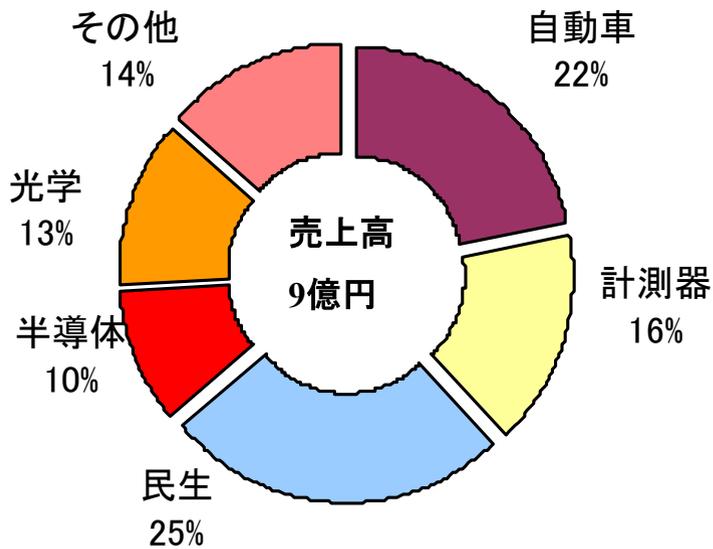


- 欧州市場向での本格的な営業活動開始
  - バイオ、光学などの分野向け

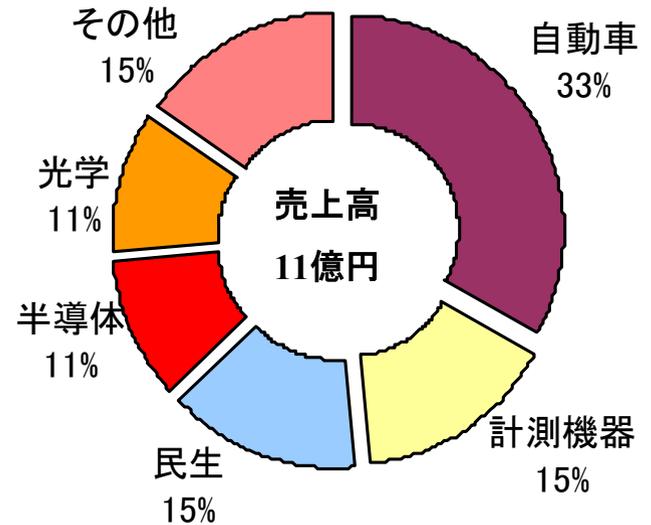


# サーモモジュールの販売先業種別シェア

販売先別シェア (02/3期)



販売先別シェア (03/3期)





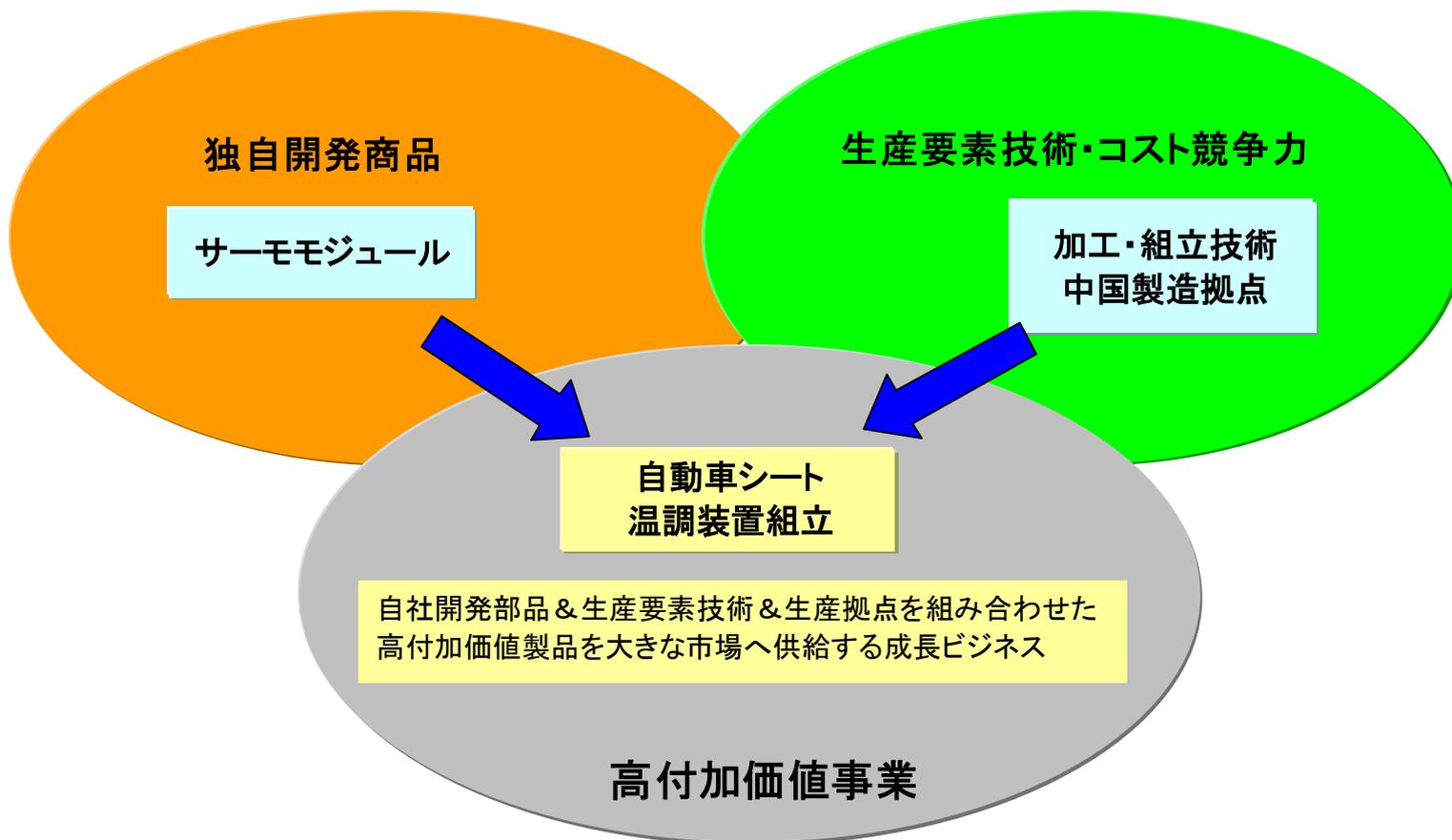
# アメリゴンの温調装置販売状況

アメリゴン社「2002年アニュアルレポート」・「プレスリリース」より

採用車種	2002年販売数量 (=シート数)	販売開始時期
フォード リンカーン ナビゲーター(SUV) / フォード エクスペディション(SUV)	131,100	1999/11、2002/01
レクサス LS430 / トヨタセルシオ(セダン)	54,000	2000/06
フォード リンカーン ブラックウッド(SUV)	5,400	2001/11
日産 インフィニティ Q45・M45(セダン)	10,700	2002/06
フォード リンカーン エビエーター(SUV)	15,300	2002/08
フォード リンカーン LS(セダン)	8,300	2002/10
合 計	225,000	
今後採用が決まっている車種		
GM キャデラック XLR(セダン)		2003年～
フォード マーキュリー モンテレー(セダン)		2004年～
GM キャデラック デビル(セダン)		2004年～
GM キャデラック エスカラーダ(SUV)		2004年～



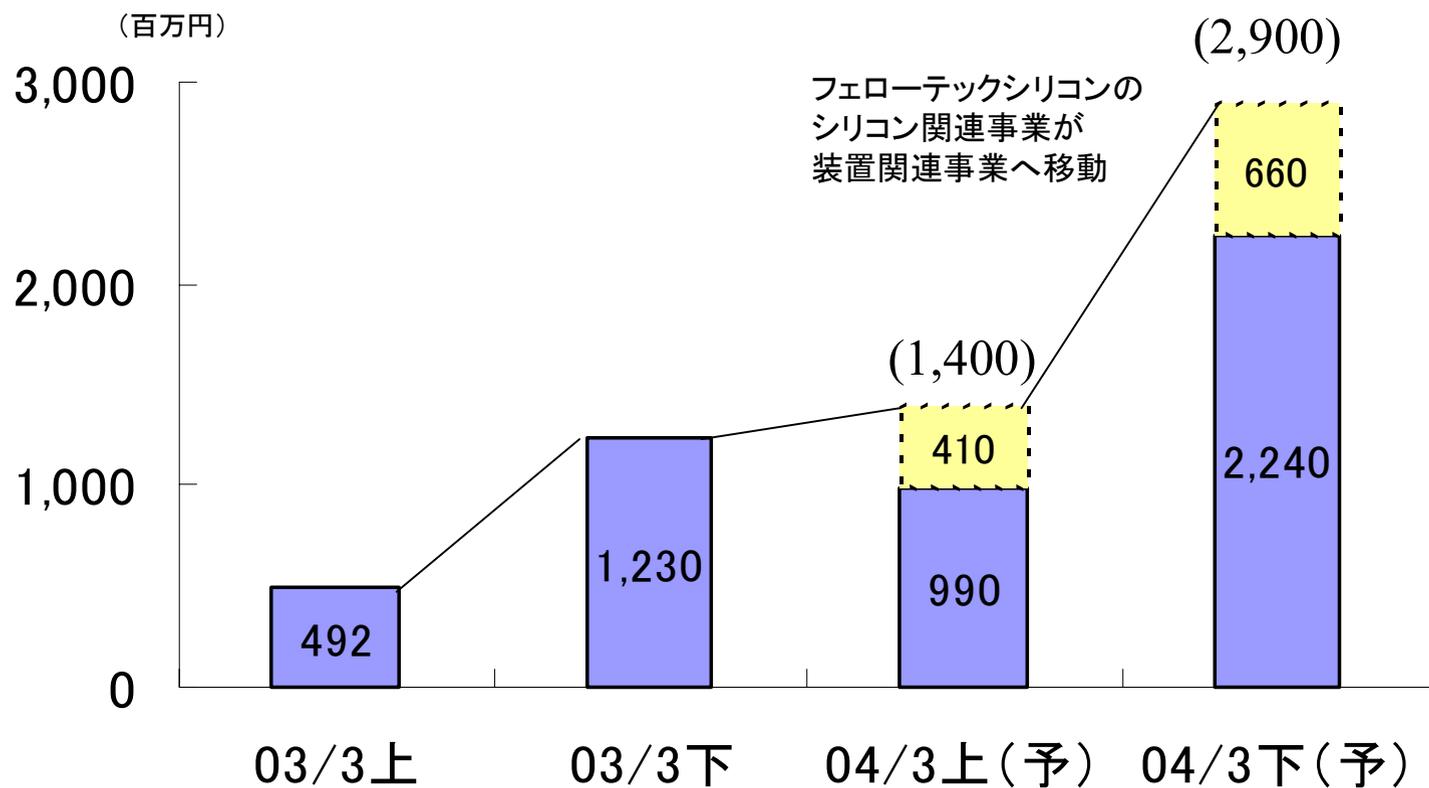
# 高付加価値事業の展開





# 3.CMS事業の状況と見通し

## CMS事業 売上高推移

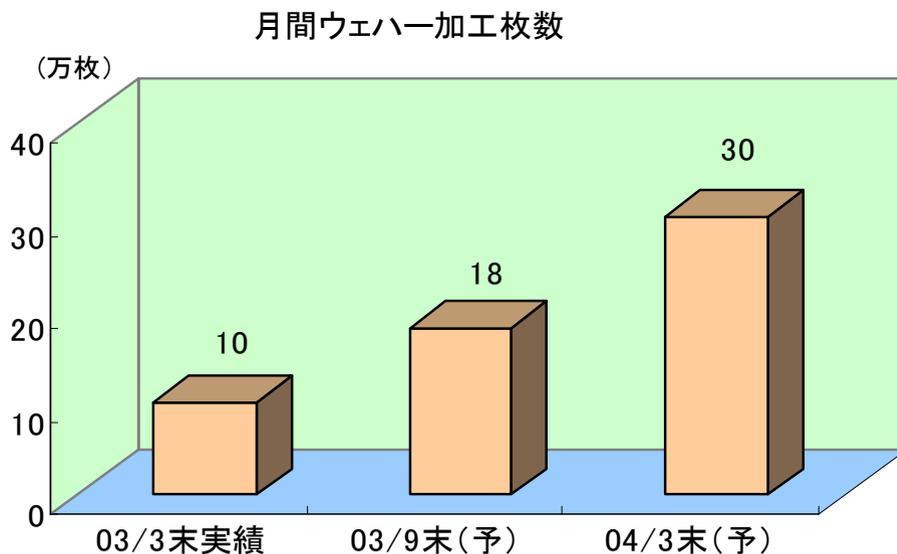




# CMS事業

- シリコンウェハー加工事業を本格的に展開
- 表面処理・装置洗浄事業は緩やかに拡大
- リチウム電池事業 中国での量産開始

■ CMS事業全体  
今期中に黒字転換目標





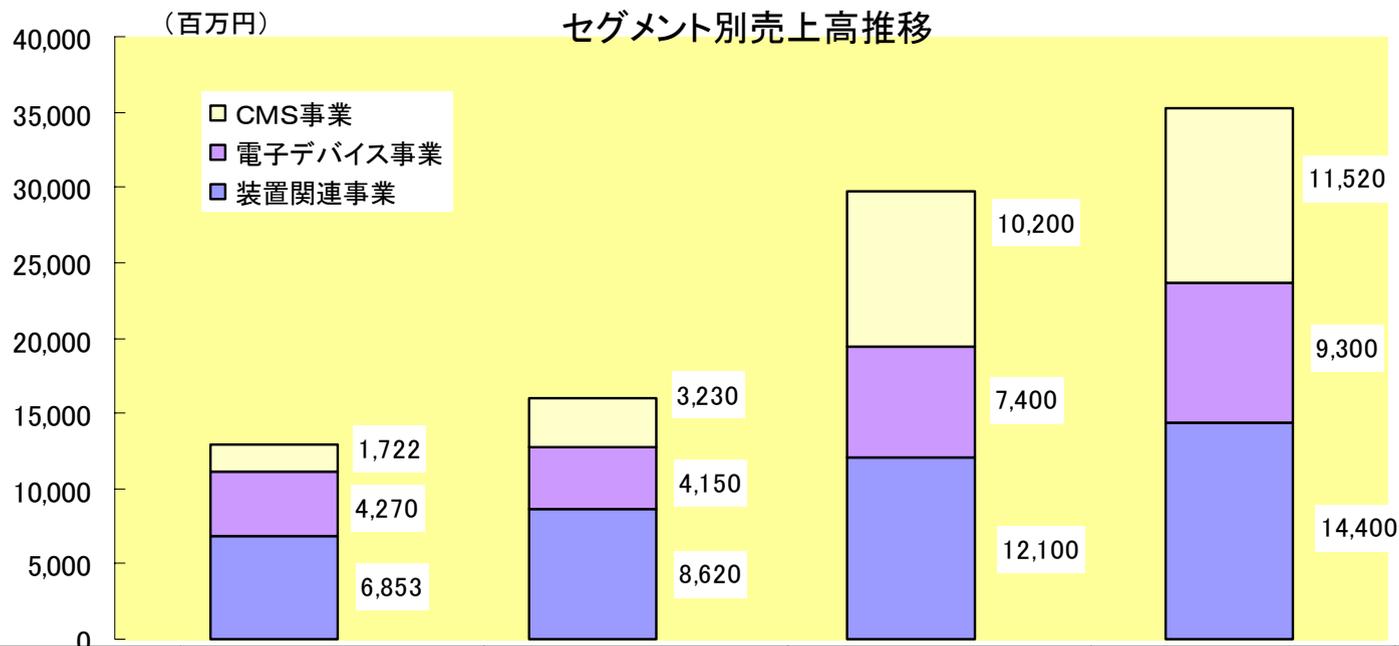
# 研究開発

- FFBの量産技術開発
- サーモモジュール 高性能材料の開発
  - 発電用サーモモジュール
  - 廉価型サーモモジュール





# 中期経営計画



	03/3期	04/3期(予)	05/3期(計)	06/3期(計)
売上高	12,845	16,000	29,700	35,220
経常利益	▲ 627	400	2,000	3,000
当期利益	▲ 899	10	1,200	2,000



# セグメント別 主な成長製品

## 1. 装置関連事業

- 真空シール・石英(半導体回復、中国市場拡大)(百万円)

	04/3	05/3	06/3
真空シール	3,040	4,150	4,900
石英製品	3,110	4,190	4,930

設備投資:15億



# セグメント別 主な成長製品

## 2. 電子デバイス事業

- サーモモジュール(自動車シート用、組立品供給)(百万円)

	04/3	05/3	06/3
サーモモジュール	1,750	3,580	5,360
及び応用製品			

設備投資:20億

- HDD用FFB(市場投入開始、装着機種増加)(百万円)

	04/3	05/3	06/3
HDD用FFB	40	900	1,440

設備投資:25億



# セグメント別 主な成長製品

## 3. CMS事業

- シリコンウエハー加工（計画能力達成、フル稼働）（百万円）

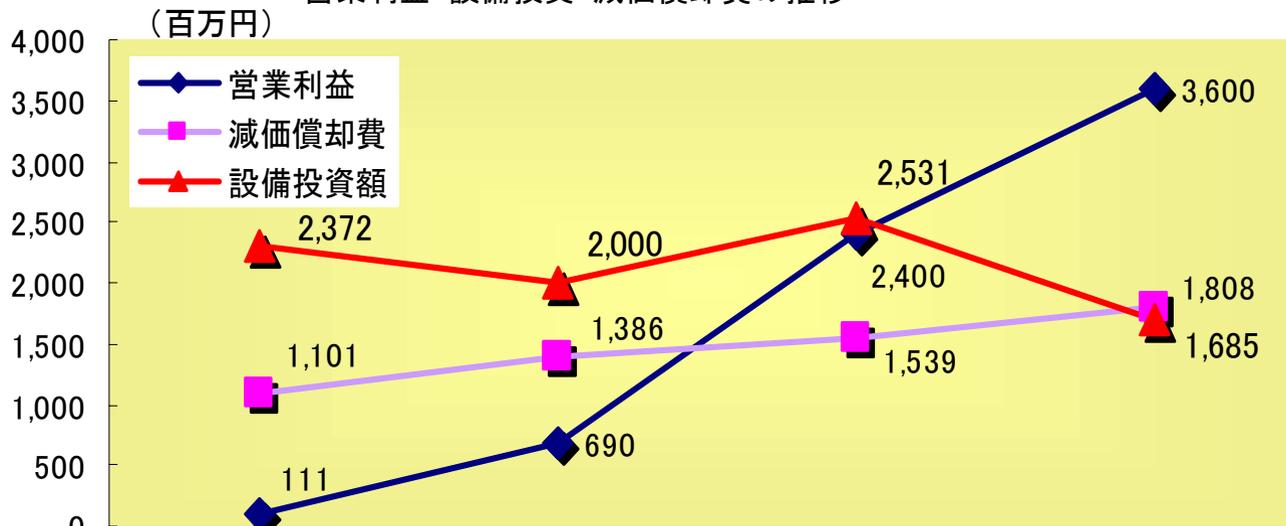
	04/3	05/3	06/3
ウエハー加工	1,900	5,350	5,650

設備投資：7億



# 中期経営計画

営業利益・設備投資・減価償却費の推移



	03/3期	04/3期(予)	05/3期(計)	06/3期(計)
売上高	12,845	16,000	29,700	35,220
経常利益	▲ 627	400	2,000	3,000
当期利益	▲ 899	10	1,200	2,000
経常利益率	-4.9%	2.5%	6.7%	8.5%
当期利益率	-7.0%	0.1%	4.0%	5.7%



# 補足資料

IR担当連絡先

フェローテック総務部 広報課

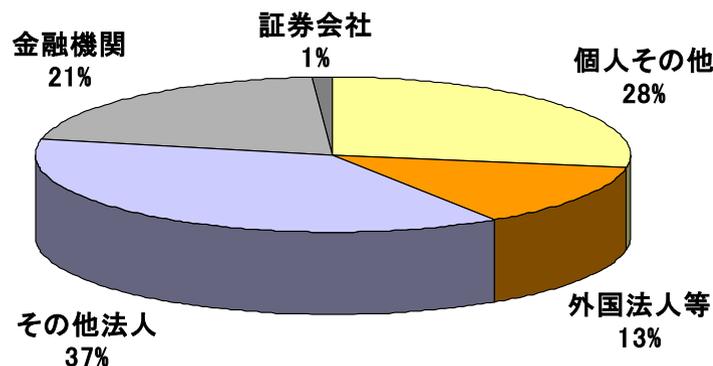
電話 3281-8186 FAX 3281-8160

本資料の原本は弊社ホームページ及び下記サイトでご覧になれます(5月27日より)【IR Street】 <http://www.irstreet.com/>



# 会社概要

商号: (株)フェローテック (英訳名) Ferrotec Corporation  
設立: 1980年9月 (店頭登録 1996年10月)  
役員: 代表取締役 山村 章  
取締役 賀 賢漢、福井 徹、神野公行、吉田 勝、椿 勲、  
常勤監査役 松井宏之、監査役 中元紘一郎、木下 隆博  
従業員数: 単体127名 連結2,700名  
資本金: 58億2490万円 (期末発行済株式数: 17,251,325株)  
大株主: 三井物産16.23%、小松製作所10.55%、クボタ6.96%、  
山村章5.53%、ザ・チェースマンハッタンバンク(ロンドン)3.79%  
株主数: 3,307名  
株主構成:





# 連結会社情報

## 連結子会社10社

(株)フェローテック精密	(真空シールの国内生産拠点)
(株)フェローテッククオーツ	(石英製品製造販売、国内に3工場保有)
(株)フェローテックシリコン	(単結晶シリコン引上、シリコンウェハー加工)
杭州大和熱磁電子有限公司	(自社製品の外、CMS事業の生産拠点)
上海申和熱磁電子有限公司	(CMS事業のシリコン加工・装置洗浄の拠点)
杭州日磁科技工業園産業開発有限公司	(日系企業の中国進出サポート)
Ferrotec Corporation Singapore Pte. Ltd.	(HDD関連の研究開発拠点)
Ferrotec (USA) Corporation	(米国における製造・販売拠点)
Ferrotec Investments, LLC	(米国の工場など不動産管理会社)
Ferrotec GmbH	(ヨーロッパ販売拠点、4つの販売子会社を有する)



# 会社沿革

- 1980年: 米国フェローフルイデイクス社の日本販売子会社として設立
- 1983年: 日本国内で磁性流体応用製品の製造を開始
- 1987年: 米国本社より全株式を取得し独立 (MBO)
- 1988年: 国産磁性流体の製造開始
- 1992年: 中国に中国現法設立し、サーモモジュール・コンピュータシールを製造開始
- 1996年: 店頭公開 (IPO)
- 1998年: 石英製造会社フェローテッククオーツを子会社化
- 1999年: フェローテックUSAを友好的TOBで買収
- 2001年: コマツグループとの業務提携 / 米国アメリゴン・インコーポレイテッドと業務提携  
フェローコムを買収
- 2002年: フェローテックシリコンを株式交換にて子会社化  
欧州の研究開発拠点、フェローテック・エンジニアリング・ルーマニアを設立  
子会社を通じて大阪特殊合金のシリコンウェハー事業を買収
- 2003年: フェローテック精密とフェローコムが合併



# ハイテク産業を支える技術の集積

CMS市場におけるフェローテックの競争力

ハイテク産業向CMS

加工技術

粉体加工 化学分析   精密マシニング・表面研磨   磁場解析・着磁   結晶成長・引上   微細加工・配線・組立   熱加工・切断・研磨・洗浄   鍍金・洗浄・排水処理   切削・研磨・焼入

製品

磁性流体   真空シール   CPシール   半導体   冷熱素子   石英・加工品   金属表面処理   セラミクス

製品のラインナップ拡大に伴う技術・インフラの充実



# アメリカンとの取引

- アメリカンとの取引
  - 同社製造の温調装置用サーモモジュールはフェローテックが100%供給
- アメリカンと結んだ温調装置の独占製造権：
  - 2001/4～2011/4の10年間
  - 独占供給先：中国、日本、台湾、韓国、インド、タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、フィリピン
  - アメリカンがこれらの地域へ供給する場合、当社が最終組立を行い出荷
- アメリカンブランドの温調装置組立
  - 2003年4月から中国で開始
  - サーモモジュールの供給から完成品の組立・出荷へシフト
  - 上記地域以外へも装置を供給
- アメリカンの温調装置販売動向
  - フォード・トヨタ・日産の高級車セダン・SUVに供給している
  - 2003年からGMの高級車セダン・SUVへの供給開始